

篠山小中が「全国植樹祭えひめ」で 表彰されました！

第2回閉校実行委員会（6月25日）で、昨年度篠山小中の好岡裕子校長先生から、「全国植樹祭えひめ」で、篠山小中学校が表彰をされたという報告を受けました。以下、篠南地区の皆様にお知らせします。



実行委員会での報告

令和8年5月17日、愛媛県総合運動公園で「第76回全国植樹祭えひめ」が行われました。これは、天皇皇后両陛下がご臨席される皇室の三大行幸啓の一つであり、愛媛県での開催は、昭和41年以来、60年ぶり2回目です。その式典の中で、令和7年度全日本学校関係緑化コンクールで特選（文部科学大臣表彰）を拝受した篠山小中学校が表彰いただきました。また、篠山小中学校が昭和53年から活動を継続してきた「篠南緑の少年隊」の代表児童生徒（現在、一本松小・中学校在籍）4名が「苗木のお手植え」の介添えとして立派に役目を果たしました。

〔「南宇和教育会だより第77号」愛教研南宇和支部好岡裕子支部長（昨年度篠山小中校長先生）の巻頭言より引用〕

植樹祭で天皇皇后両陛下に篠山小中の活動を知っていただきました



説明のパネル

好岡校長先生は、このパネルを使って天皇皇后両陛下にご説明し、お話しされたそうです。天皇陛下から「どの活動に最も力を入られましたか？」とお尋ねがあり、校長先生は「地域の方々の協力をいただき、全ての活動が充実していました。」とお答えしたそうです。皇后陛下は「長い名前の学校ですね。」と笑顔でお話しになり、「このような取組をされている学校がなくなるとは残念ですね。やはり過疎化の影響でしょうか。」とおっしゃっていたとのことです。

令和7年度 全日本学校関係緑化コンクール
学校環境緑化の部 特選
高知県宿毛市 愛媛県南宇和郡愛南町 篠山小中学校組合立篠山小中学校

校長 好岡 裕子

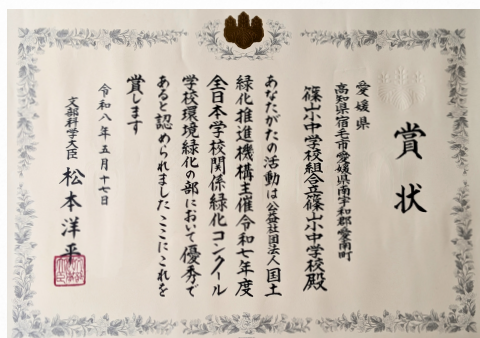
植物観察会

苗木の名前プレートづくり

米づくり

県道花壇の緑化活動

本校は周囲の自然と一体化した緑豊かな環境にあり、校庭は様々な樹木で囲まれているため、植物の専門家を講師として樹木観察会を行った。
お気に入りの樹木に名前プレートをつくって樹木への愛着を深めた。
また、卒業生が植樹した「被爆アオギリ二世」や「ソルフェリーノの丘のイトスギ」を通して日本赤十字社の方から平和学習を行い、自分たちができることを考え、主体的な平和活動への協力などを行ってきた。
また、伝統ある「米づくり」や「県道花壇の緑化活動」を地域の方や近隣の高校生（農業科）と交流しながら継続してきた。「ささボラ（篠南ボランティア）」と名付けた地域の活動は、休校後も継続して県道花壇の緑化活動を進めていくこととなっている。



全日本学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部特選の賞状と盾

大会プログラムから抜粋

休校になっても篠ボラは
続いています・・・

●中学校の部



特選（文部科学大臣賞）

- 愛媛県 高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町
篠山小中学校組合立篠山小中学校

閉校を控え、校庭の樹木を「学校の歴史の象徴」として、児童生徒が作成した樹木名プレートの設置や季節ごとの開花記録など、活動の歩みを思い出として記録している。

専門家による植物観察会、「被ばくアオギリII世」等を用いた平和学習など、樹木教育が他の教育に結びついている。



R8.5.22